

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東淀川区
学校名	東淡路小学校
学校長名	笹部 靖憲

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東淡路小学校では、第6学年 55名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

【国語】平均正答率	全国を0.3ポイント上回る結果となった。（対全国比1.004）
無解答率	全国より1.7ポイント下回る結果となった。
【算数】平均正答率	全国を2.4ポイント下回る結果となった。（対全国比0.962）
無解答率	全国とほぼ等しい結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕知識・技能の「我が国の言語文化に関する事項」の平均正答率が、対全国で+3.6pt。年間を通じた漢字への取組の成果が今回も表れた。思考・判断・表現の「書くこと」も対全国で+3.4pt。昨年度から、大阪市教育委員会の「学力向上支援チーム事業」の支援を受け、校内研究で算数学習を取り上げている。その中で、問題の解法と答えについて子どもたちが自分で考え、ノートにまとめるに重点を置いた授業に取り組んでいる。その成果が国語で表れたと考えている。今回特に苦戦した問題は大問1である。大問1では、遠隔地の学校の児童とオンラインのリモート会議で交流する。そのために事前のメールのやりとりから、相手に伝える内容を考え、メモを作成したという設定である。学校ではここまでやりとりを行ったことはないので、その段階で難しいと考えた児童もいたと考える。また各小問は一「メモの整理のしかたの意図」、二(1)「オンライン交流（会話）での話し方を変えた理由」、同(2)「会話の中での話す内容の工夫の理由」を問う問題であった。問題のテキストの「内容」ではなく、そのテキストの「意図や目的、機能」を問う問題で、これも慣れない問題であった。今後の国語学習に向けての課題である。

〔算数〕領域では「A 数と計算」が+0.4pt、「B 図形」が-5.4pt、「D データの活用」が-5.4ptであった。また「知識・技能」が+0.7pt、「思考・判断・表現」が-6.5ptであった。対全国比で最もよくできた問題が大問4(1)「 $500 \div 0.6$ 」、5(1)「円グラフの読み取り」、4(4)「家から図書館の間の自転車の分速」いずれも基礎的な問題である。これに対し最もできなかつた問題が大問4(3)「同じ距離で、かかった時間が違う二人のどちらが速いか説明」。次にできなかつたのが3(2)「円柱の側面を展開した長方形の横の長さ」。前者は「道のり ÷ 時間 = 速度」という公式への当てはめだけではなく、「道のりは同じで時間が違うふたつの場合の速度の関係」、後者は「底面の外周の長さが、展開した側面の長方形の横の長さ。ここでは円周」という、応用的というよりもなぜそうなるかという「理解」の部分に不足があったと考えられる。

質問調査より

「(9)自分にはよいところがある」については対全国で-2ptとほとんど差がない結果となった。過去10年の中ではよい数値である。自己肯定感がある落ち着いた態度で生活している子どもが多いようすがうかがえる。「(11)将来の夢や目標がある」については対全国を上回り、将来について前向きな気持ちをもてるのも自己肯定感があればこそと考える。「(15)人の役に立つ人間になりたい」が96%と高いのに対して、「(12)人が困っているとき助ける」が87.7%と下がることから、前向きな気持ちはあるが、一歩踏み出せない子どもたちの存在がうかがえる。「(16)学校に行くのが楽しい」「(36)先生はわかるまで教えてくれる」のふたつが全国を上回る一方で、「(20)自分で学び方を考え工夫している」「(31)自分の考えをまとめる活動をしている」「(33)話し合いを通して考えを深めたり、新たな考えに気付いたりしている」が全国を下回ることから、先述の「(15)」と「(12)」の関係のように、前向きな気持ちをもって学校生活を過ごし学習も教えてもらってがんばっているが、一歩が踏み出せず、主体性を十分に発揮できていないようすがうかがえる。

今後の取組(アクションプラン)

【全般】先述のように、現在、算数を中心に、問題に対して自分の考えをもち、ことばや図、式を使ってまとめることを重視した学習を進めている。まとめた考えについては、まず隣の席の子どもとペアで交流し、その後全体交流、あるいはグループ交流をはさんで全体交流を行い対話的な学習進めている。これをより進めていくとともに、ICTを活用したりしながら、「ひとり→ペア→全体」といった流れだけでなく、ひとりの段階から友だちの考えを参考にしたり（途中参照）、あるいは、ひとりで考える子、先生にヒントをもらいながら考える子、グループで考える子など複線的な学習を取り入れ、より子どもたちが主体的に学習に取り組めるようにしていきたい。またICTへの慣れを進めるようなタイピング力の向上も図っていきたい。

【国語】今後も5.6年生の日本漢字能力検定を中心に、学期ごとの校内漢字検定を継続し、基本となる漢字や語いに力点を置いた指導を継続していく。また、なかも内ではない人に理解してもらえるように考えてことばを組み立てることも意識して取り入れていきたい。

【算数】補充学習「ひがあわタイム」や「100ます計算」といった全校的な取組を基礎学力の底上げのため今後も継続する。デジタルドリル「navima」の活用とともに検討を進めたい。また今回特に正答率に課題があった定義や性質の理解についても校内で再度確認して、日々の学習生かしていきたい。

【質問紙調査】学年の児童数40～60人の限られた集団で、子どもたち相互の関係性を変えることは難しい。高学年になるに従い、子どもたちそれぞれの自我も強まり、複雑な心情をもつことも増える。そういう状況に対して、「心の天気」や「アセス」などのアセスメントを児童理解に活用しながら、またスクールカウンセラー、こどもサポートネットといった関連機関から積極的に支援を受けながら、今ある落ち着いた態度で子どもたちの前向きな気持ちを主体的な一步につなげられるよう取り組んでいきたい。

【 全体の概要 】

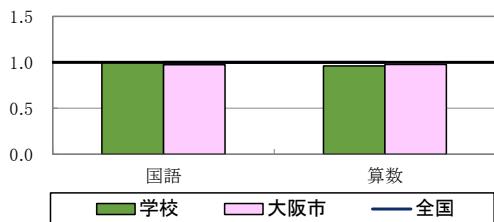
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	68	61
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

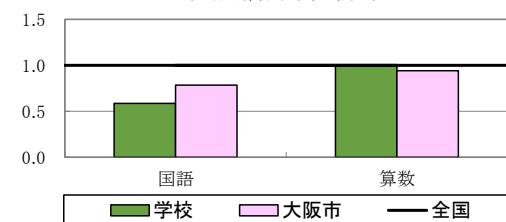
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	2.5	3.4
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



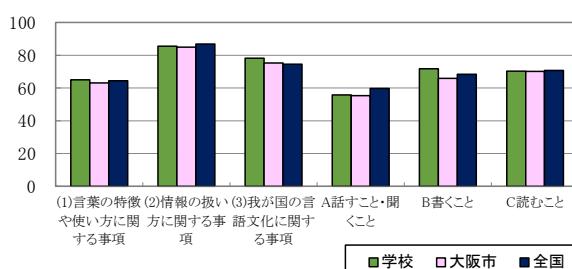
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	65.0	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に関する事項	1	85.5	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	78.2	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.8	55.3	59.8
B 書くこと	2	71.8	65.9	68.4
C 読むこと	3	70.3	70.1	70.7

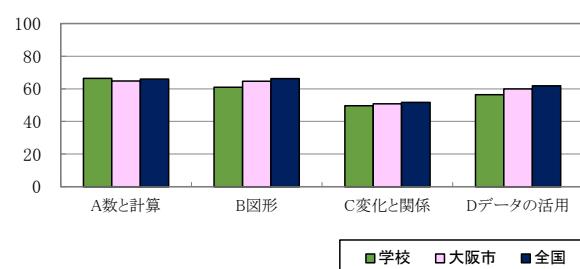
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	66.4	64.8	66.0
B 図形	4	60.9	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	49.7	50.8	51.7
D データの活用	4	56.4	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



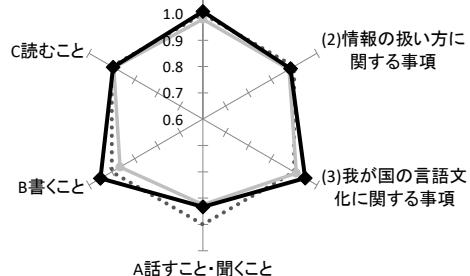
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

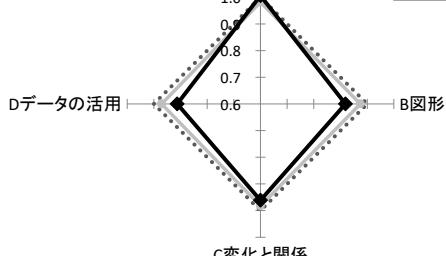
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
(2)情報の扱い方に関する事項
(3)我が国の言語文化に関する事項

.....全国
大阪市
学校



.....全国
大阪市
学校

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
(2)情報の扱い方に関する事項
(3)我が国の言語文化に関する事項



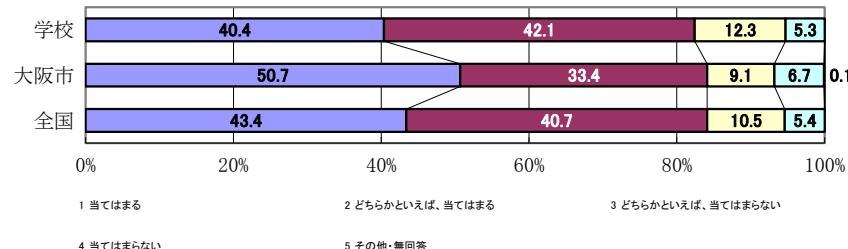
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

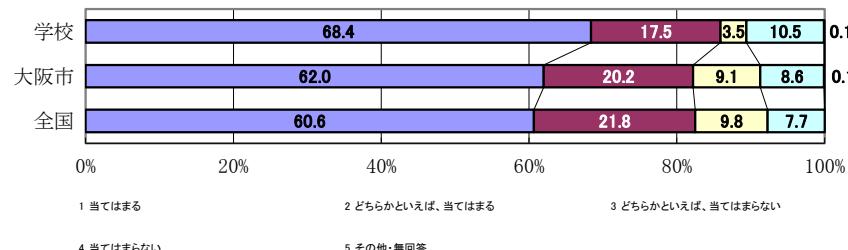
9

自分には、よいところがあると思いますか



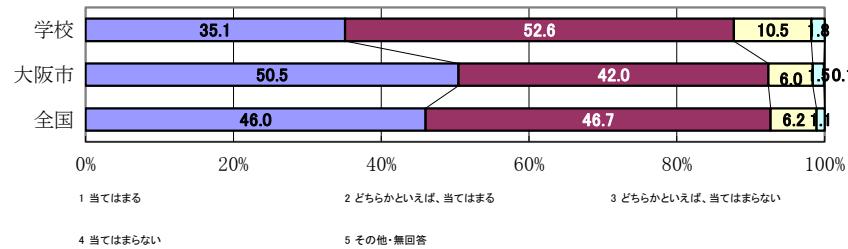
11

将来の夢や目標を持っていますか



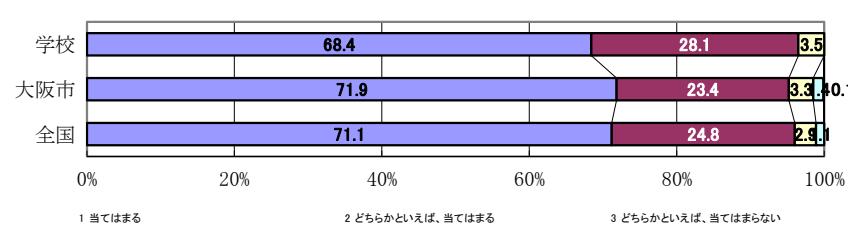
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



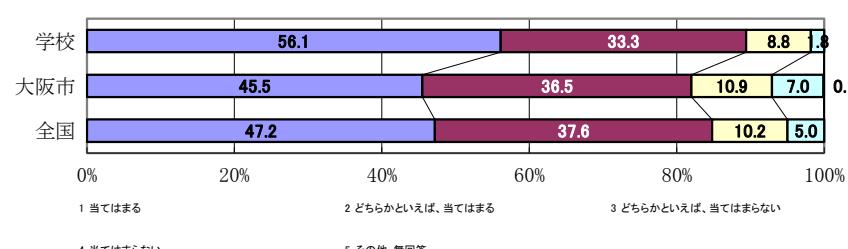
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



16

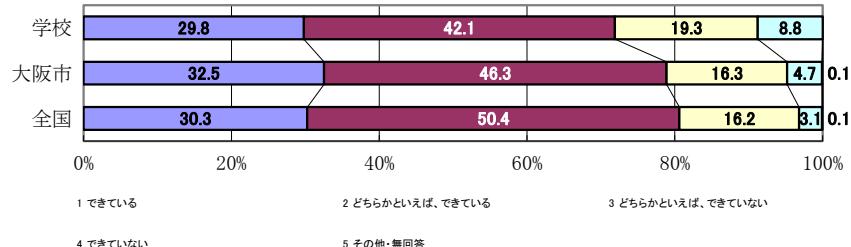
学校に行くのは楽しいと思いますか



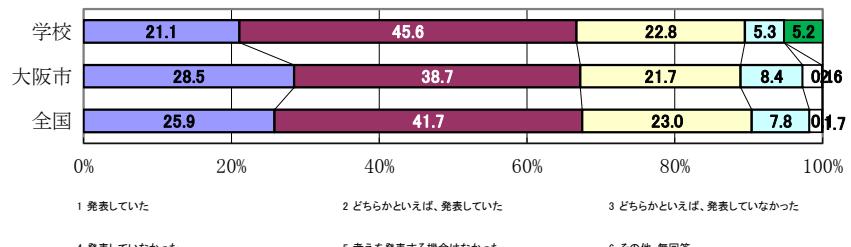
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

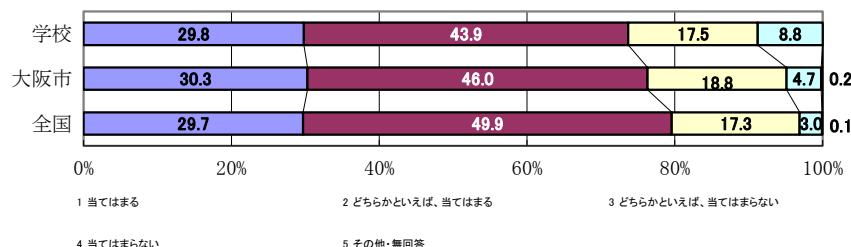
質問番号
質問事項
20
分からぬことや詳しく知りたいことがあつたときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



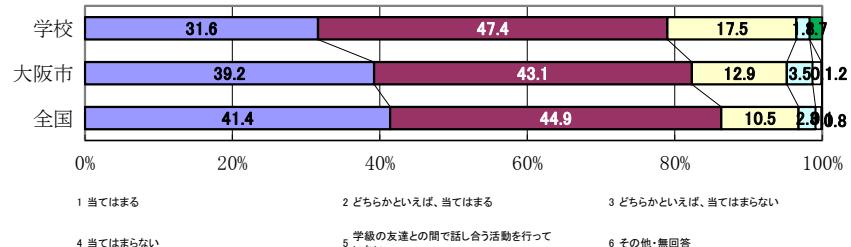
29
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



31
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



33
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



36
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

